



第61期 中間報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで

1P	株主の皆様へ 高いシナジー効果を発揮し グループの企業価値の最大化を目指す
3P	TOPICS 活況を呈した、OUGグループ 初のプライベート展示会!
5P	財務の概況〔連結〕
7P	財務の概況〔単体〕
9P	会社情報 OUGホールディングス株式会社・大阪魚市場株式会社
10P	株式の状況 GROUP NEWS: OUGグループ組織図





取締役社長

溝上 涼二

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第61期中間期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)の事業の概況および諸計算のご報告を申し上げます。

平成18年12月

第61期中間期の業績(連結)

当中間期における日本経済は、企業収益の改善を背景に設備投資の拡大や雇用・所得環境の改善に伴い個人消費が堅調に推移するなど民間需要に支えられ、景気は総じて緩やかながら回復基調が続きました。

水産物流通業界におきましては、依然として個人消費の本格的な回復は実感できず、企業間の販売競争の激化、海外市場における世界的な水産物需要の高まりや原油価格高騰による魚価の上昇など厳しい状況が続きました。

このような環境の中、当社グループ各社は、グループ会社間の連携を強化し、生産から消費までの広範なネットワークを通じて、多様化する顧客ニーズに対応した積極的な事業活動を展開してまいりました。

しかしながら、当中間連結会計期間の売上高は1,797億59百万円(前年同期比99.3%)と微減となりました。事業部門別では、卸売市場における水産物卸売部門は1,105億49百万円(前年同期比100.1%)、卸売市場以外での水産物卸売部門は675億34百万円(前年同期比98.2%)、その他16億74百万円(前年同期比87.8%)となりました。

高いシナジー効果を発揮し グループの企業価値の最大化を目指す

損益面では、売上総利益は119億63百万円(前年同期比100.5%)と微増となりましたが、販売費及び一般管理費の削減や金融収支の改善など効率化を図り、営業利益は5億88百万円(前年同期比250.8%)、経常利益は6億3百万円(前年同期比205.5%)の増益となりました。中間純利益は減損損失1億9百万円を含む特別損失2億68百万円の計上および繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、2億53百万円の損失(前年同期20億80百万円の損失)となりました。

今後の対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、国内の民間需要に支えられ、景気は回復基調を維持すると見込まれるものの、米国経済の減速懸念や原油価格の動向など先行き不透明感もあります。

このような状況のもと、当社は、本年10月1日をもちまして、全事業である荷受事業を会社分割し、純粋持株会社体制に移行するとともに、「OUGホールディングス株式会社」へ商号を変更し、従来の荷受事業は、新たに設立された「大阪魚市場株式会社」が承継いたしました。

当社グループは「水産物をコアとし、お客様に価値ある商品とサービスを提供することにより、食文化の発展に貢献します。」をグループの経営理念として、水産物流通における消費者ニーズの変化や流通形態の多様化などの環境変化に対応し、グループ経営資源の選択と集

中により経営効率を高め、事業間の相乗効果の発揮により、グループ内の企業価値向上に向け取り組んでまいります。

一方、当社と株式会社マルハグループ本社は、近畿地区における水産物荷受事業の販売力強化・効率化を目的として、当社グループの荷受事業会社3社(大阪魚市場株式会社、和歌山魚類株式会社、滋賀県魚市場株式会社)と株式会社マルハグループ本社の荷受事業会社2社(神港魚類株式会社、大京魚類株式会社)で、共同株式移転により、荷受中間持株会社を平成19年4月1日に設立する予定であります。

また、当社はグループ各社の事業の自立性、独立性を維持しつつ、経営責任とガバナンスの強化を迫り、荷受事業・市場外事業等のビジネスモデルに合致した事業戦略の遂行と経営管理により、グループとして適正かつ健全な経営を行い、グループの業績向上に努めてまいります。

業績に関しましては、平成19年3月期連結売上高3,800億円、経常利益25億円、当期純利益7億円を見込んでおります。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり7円50銭を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

初のプライベート展示会！ 活況を呈した、OUGグループ

OUGグループが新体制の初の取り組みとして、東京・大阪・福岡 3 地区でプライベート展示会「まいどバリューMIX OUG 合同展示会—お客様と築く、食文化への架け橋—」を開催いたしました。

会場には、グループ各社のオリジナル商品や地域性を打出した商品などを中心に約600品目を展示。商品は来場者への解りやすさを考慮し、グループ各社の垣根を越えて「量販店向け」「外食・中食・給食向け」「年末商材」「物産品」「寿司種」「鮮魚」とカテゴリー別のコーナーに分け、試食を含めて展示・提案を行いました。また、「IRコーナー」では、グループのマークや経営理念、全国の拠点などをパネルやモニターを使って紹介。その他、魚を中心とした食育推進活動の紹介やグループ各社の素材を使った調理メニューの提案も合わせて行いました。

来場者は、グループ各社の取引先の百貨店、量販店、卸売業者、外食・中食・給食業者、メーカーなど3会場で延べ830社、1,800名にのぼり、各会場とも商談に情報交換にと活況を呈しました。3会場での出展を通じ、内には「結束と連携」を掲げてグループ間取引の活性化と提案力の強化を推進し、外に向けてはOUGグループの多様性と総合力を大いにアピールいたしました。

大阪会場

堂島ホテル
10月12日開催

700人を超える近畿圏の関係者が来場されました。



福岡会場

博多スターレーン展示会場
10月24日開催

600人を超える九州地区の関係者が来場されました。



東京会場

東京都立産業貿易センター
9月12日開催

500人近くの関東圏の関係者が来場されました。



財務の概況 [連結]

(連結) 中間貸借対照表 ※

科目	期別	(単位:百万円)		
		当中間期 (平成18年9月30日現在)	前年中間期 (平成17年9月30日現在)	前 期 (平成18年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		70,442	67,838	58,576
現金及び預金		2,619	2,178	2,608
受取手形及び売掛金		40,395	37,617	33,942
たな卸資産		24,347	25,109	19,042
繰延税金資産		971	948	832
その他		2,996	2,915	3,048
貸倒引当金		△ 888	△ 932	△ 899
固定資産		26,385	26,997	27,433
有形固定資産		13,454	15,076	13,724
建物及び構築物		4,632	4,399	4,750
機械装置及び運搬具		1,193	1,078	1,227
器具及び備品		180	186	189
土地		7,448	9,295	7,557
建設仮勘定		—	117	—
無形固定資産		159	175	165
投資その他の資産		12,772	11,745	13,543
投資有価証券		11,274	9,715	11,990
長期貸付金		1,100	1,036	1,074
長期滞留債権		2,738	9,693	2,749
繰延税金資産		28	26	27
その他		1,145	1,213	1,192
貸倒引当金		△ 3,514	△ 9,939	△ 3,491
資産合計		96,827	94,836	86,009

科目	期別	(単位:百万円)		
		当中間期 (平成18年9月30日現在)	前年中間期 (平成17年9月30日現在)	前 期 (平成18年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		64,653	62,327	51,426
支払手形及び買掛金		28,339	25,000	21,202
短期借入金		32,186	33,614	26,118
未払法人税等		120	161	212
未払消費税等		45	96	279
賞与引当金		647	654	615
その他		3,312	2,799	2,997
固定負債		7,633	9,577	8,759
長期借入金		3,423	5,259	4,613
繰延税金負債		847	978	532
再評価に係る繰延税金負債		446	453	446
退職給付引当金		2,059	2,176	2,250
役員退職慰労引当金		453	463	514
連結調整勘定		—	42	170
負ののれん		150	—	—
その他		251	203	231
負債合計		72,286	71,905	60,186
少数株主持分		—	6,830	6,494
資本の部				
資 本 金		—	6,495	6,495
資 本 剰 余 金		—	6,033	6,033
利 益 剰 余 金		—	2,273	4,340
土地再評価差額金		—	△ 774	△ 807
その他有価証券評価差額金		—	2,440	3,641
自 己 株 式		—	△ 367	△ 373
資本合計		—	16,100	19,329
負債、少数株主持分及び資本合計		—	94,836	86,009
純資産の部				
株 主 資 本		15,732	—	—
資本金		6,495	—	—
資本剰余金		6,042	—	—
利益剰余金		3,680	—	—
自己株式		△ 485	—	—
評価・換算差額等		2,405	—	—
その他有価証券評価差額金		3,092	—	—
繰延ヘッジ損益		119	—	—
土地再評価差額金		△ 807	—	—
少数株主持分		6,403	—	—
純資産合計		24,541	—	—
負債及び純資産合計		96,827	—	—

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 新設分割前の旧大阪魚市場株式会社で記載しております。

財務の概況 [連結]

(連結) 中間損益計算書 ※

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前年中間期	前 期
		[自平成18年4月1日 至平成18年9月30日]	[自平成17年4月1日 至平成17年9月30日]	[自平成17年4月1日 至平成18年3月31日]
売上高		179,759	181,049	375,022
売上原価		167,795	169,151	350,088
売上総利益		11,963	11,898	24,934
販売費及び一般管理費		11,374	11,663	23,438
営業利益		588	234	1,496
営業外収益		302	347	681
営業外費用		288	288	558
経常利益		603	293	1,619
特別利益		46	130	678
投資有価証券売却益		46	130	259
固定資産売却益		—	—	419
特別損失		268	2,251	3,020
経営基盤整備費用		150	70	215
減損損失		109	1,995	2,019
その他		8	185	785
税金等調整前中間(当期)純利益		381	△ 1,827	△ 722
法人税、住民税及び事業税		73	101	267
法人税等調整額		585	218	△ 966
少数株主損失(△)		△ 24	△ 67	△ 32
中間(当期)純利益		△ 253	△ 2,080	10

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 新設分割前の旧大阪魚市場株式会社で記載しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前年中間期	前 期
		[自平成18年4月1日 至平成18年9月30日]	[自平成17年4月1日 至平成17年9月30日]	[自平成17年4月1日 至平成18年3月31日]
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,669	△ 2,408	5,241
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 541	△ 354	573
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		4,265	2,275	△ 5,872
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V. 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)		55	△ 487	△ 58
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		2,479	2,537	2,537
VII. 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		2,534	2,050	2,479

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

中間連結株主資本等変動計算書

当中間期(自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	6,495	6,033	4,340	△ 373	16,496	3,641	—	△ 807	2,833	6,494	25,823
当中間期の変動額											
剰余金の配当			△ 404		△ 404				—		△ 404
役員賞与			△ 1		△ 1				—		△ 1
中間純利益			△ 253		△ 253				—		△ 253
自己株式の取得				△ 145	△ 145				—		△ 145
株式交換		8		33	42				—		42
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					—	△ 548	119		△ 428	△ 90	△ 519
当中間期変動額合計	—	8	△ 660	△ 111	△ 763	△ 548	119	—	△ 428	△ 90	△ 1,282
平成18年9月30日残高	6,495	6,042	3,680	△ 485	15,732	3,092	119	△ 807	2,405	6,403	24,541

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況 [単体]

(単体) 中間貸借対照表 ※

科目	期別	(単位:百万円)		
		当中間期 (平成18年9月30日現在)	前年中間期 (平成17年9月30日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		30,361	29,086	23,489
現金及び預金		515	335	390
受取手形		214	214	189
売掛金		21,634	20,036	17,611
たな卸資産		8,096	8,411	5,526
繰延税金資産		528	782	531
その他		181	184	67
貸倒引当金		△ 809	△ 878	△ 827
固定資産		21,122	23,454	21,676
有形固定資産		3,388	4,647	3,392
建物		1,286	852	1,287
構築物		43	2	48
車両器具備品		47	35	46
土地		2,010	3,639	2,010
建設仮勘定		—	117	—
無形固定資産		34	28	30
電話加入権		19	19	19
その他		14	8	10
投資その他の資産		17,699	18,779	18,253
投資有価証券		8,870	7,777	9,694
子会社株式		7,211	6,767	7,159
長期貸付金		2,365	4,139	2,310
繰延税金資産		179	1,135	—
その他		2,008	2,145	2,028
貸倒引当金		△ 2,935	△ 3,186	△ 2,939
資産合計		51,483	52,540	45,166

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 新設分割前の旧大阪魚市場株式会社で記載しております。

科目	期別	(単位:百万円)		
		当中間期 (平成18年9月30日現在)	前年中間期 (平成17年9月30日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		28,565	26,077	20,556
支払手形		875	1,550	183
買掛金		12,391	11,184	9,346
短期借入金		9,900	9,690	6,420
一年以内に返済予定の長期借入金		2,933	1,577	2,433
未払金		896	603	579
未払費用		337	289	442
未払法人税等		36	36	31
預り金		126	120	87
預り保証金		743	678	687
賞与引当金		323	345	299
その他		0	1	46
固定負債		4,524	8,591	5,663
長期借入金		2,026	3,424	2,992
繰延税金負債		—	—	102
退職給付引当金		947	1,035	1,019
役員退職慰労引当金		201	180	198
子会社支援損失引当金		—	3,950	1,350
債務保証損失引当金		1,350	—	—
負債合計		33,090	34,668	26,220
資本の部				
資本金		—	6,495	6,495
資本剰余金		—	6,033	6,033
資本準備金		—	6,033	6,033
利益剰余金		—	3,460	3,409
利益準備金		—	858	858
任意積立金		—	3,377	3,377
買換資産圧縮積立金		—	301	301
別途積立金		—	3,076	3,076
中間(当期)未処分利益		—	△ 775	△ 826
株式等評価差額金		—	2,236	3,365
自己株式		—	△ 352	△ 358
資本合計		—	17,872	18,945
負債及び資本合計		—	52,540	45,166
純資産の部				
株主資本		15,514	—	—
資本金		6,495	—	—
資本剰余金		6,042	—	—
資本準備金		6,033	—	—
その他資本剰余金		8	—	—
利益剰余金		3,446	—	—
利益準備金		858	—	—
その他利益剰余金		2,588	—	—
買換資産圧縮積立金		296	—	—
別途積立金		1,446	—	—
繰越利益剰余金		845	—	—
自己株式		△ 470	—	—
評価・換算差額等		2,879	—	—
その他有価証券評価差額金		2,878	—	—
繰延ヘッジ損益		0	—	—
純資産合計		18,393	—	—
負債及び純資産合計		51,483	—	—

財務の概況 [単体]

(単体) 中間損益計算書 ※

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前年中間期	前期
		(自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	(自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
売上高		104,068	104,003	213,531
売上原価		99,922	99,764	205,105
売上総利益		4,145	4,238	8,425
販売費及び一般管理費		3,671	3,804	7,410
営業利益		474	434	1,015
営業外収益		300	300	477
営業外費用		169	144	262
経常利益		605	590	1,230
特別利益		—	78	497
特別損失		96	1,641	2,040
税引前中間(当期)純利益		509	△ 973	△ 312
法人税、住民税及び事業税		7	7	15
法人税等調整額		59	193	896
中間(当期)純利益		442	△ 1,174	△ 1,224
前期繰越利益		—	398	398
中間(当期)未処分利益		—	△ 775	△ 826

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 新設分割前の旧大阪魚市場株式会社で記載しております。

営業成績および財産状況の推移

(単位:百万円)

区分	年度		平成16年度 第59期		平成17年度 第60期		平成18年度 第61期
	中間	通期	中間	通期	中間	通期	
売上高	102,936	214,603	104,003	213,531	104,068	213,531	
経常利益	875	1,723	590	1,230	605	1,015	
中間(当期)純利益	504	1,006	△ 1,174	△ 1,224	442	△ 1,224	
1株当たり 中間(当期)純利益	円 9.24	円 17.74	円 △ 21.74	円 △ 22.68	円 8.21	円 △ 22.68	
総資産	54,073	49,385	52,540	45,166	51,483	51,483	
純資産	18,144	18,915	17,872	18,945	18,393	18,393	

注記事項

1株当たり中間(当期)純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。
なお、期中平均発行済株式総数は、自己株式数を除いて算出しております。

(単位:百万円)

中間株主資本等変動計算書 当中間期(自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)

	株主資本									評価・換算差額等			純資産合計		
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	買換資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金							利益剰余金合計
平成18年3月31日残高	6,495	6,033	—	6,033	858	301	3,076	△ 826	3,409	△ 358	15,579	3,365	—	3,365	18,945
当中間期の変動額															
買換資産圧縮積立金の取崩				—		△ 4		4	—		—				—
別途積立金の取崩				—			△ 1,630	1,630	—		—				—
剰余金の配当				—				△ 404	△ 404		△ 404				△ 404
中間純利益				—				442	442		442				442
自己株式の取得				—				—	△ 145		△ 145				△ 145
株式交換			8	8				—	33		42				42
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)				—					—		—	△ 487	0	△ 486	△ 486
当中間期変動額合計	—	—	8	8	—	△ 4	△ 1,630	1,671	37	△ 111	△ 65	△ 487	0	△ 486	△ 552
平成18年9月30日残高	6,495	6,033	8	6,042	858	296	1,446	845	3,446	△ 470	15,514	2,878	0	2,879	18,393

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

OUGホールディングス株式会社

OUGホールディングス株式会社

(OUG Holdings Inc.)

旧商号:大阪魚市場株式会社(平成18年10月1日商号変更)

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式を所有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月(創業 昭和22年10月)

資本金 6,495百万円

発行済株式総数 55,362,921株

従業員数 24名

取締役・監査役・執行役員体制

取締役	代表取締役社長	溝上 源二
	代表取締役	竹西 俊之助
	取締役	谷川 正俊
	取締役	久保田 博
	取締役	勝屋 昭雄
	取締役	薄波 卓郎
	取締役	白川 勝弘
	取締役	久井 恵之助 (社外取締役)
	取締役	久代 敏男 (社外取締役)

監査役	常勤監査役	村中 義美
	常勤監査役	下川 真二 (社外監査役)
	監査役	岡本 宏 (社外監査役)

執行役員	常務執行役員	増田 安利
	執行役員	中江 一夫
	執行役員	原田 史郎
	執行役員	村松 保範
	執行役員	中尾 宏行

顧問	顧問	加藤 精一
-----------	----	-------

従来の荷受事業を承継いたしました大阪魚市場株式会社の会社概要は以下のとおりです。

大阪魚市場株式会社(新設分割設立会社)

会社概要

主要な事業内容 卸売市場法に基づき、農林水産大臣の許可を得て水産物卸売業者として水産物の集荷販売を主たる事業としております。

設立 平成18年10月2日

資本金 2,000百万円

発行済株式総数 40,000株

従業員数 457名

取締役・監査役体制および業務執行体制

取締役	代表取締役会長	溝上 源二
	代表取締役社長	勝屋 昭雄
	取締役	竹西 俊之助
	取締役	米谷 孝治
	取締役	此本 勝美
	取締役	津江 恭夫
	取締役	草場 裕樹
	取締役	大川 左内
	取締役	木戸 勝彦

監査役	監査役	下川 真二
------------	-----	-------

業務執行体制	代表取締役社長	
	社長執行役員	勝屋 昭雄
	取締役専務執行役員	米谷 孝治
	取締役専務執行役員	此本 勝美
	取締役常務執行役員	津江 恭夫
	取締役常務執行役員	草場 裕樹
	取締役常務執行役員	大川 左内
	取締役常務執行役員	木戸 勝彦
	常務執行役員	三輪 光幸
	執行役員	富谷 元英
執行役員	佐保 敏行	
執行役員	勝田 昇	
執行役員	岩佐 勇人	

株式の状況 (平成18年9月30日現在)

株式の状況

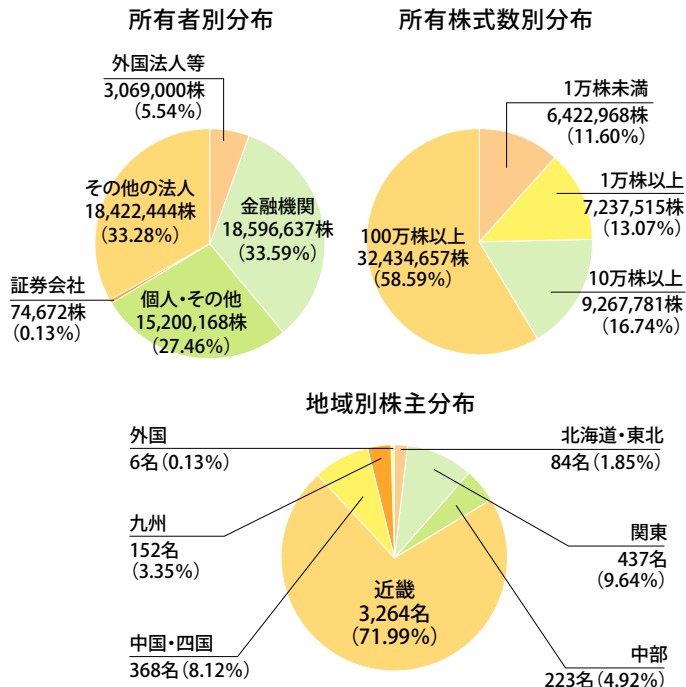
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,362,921株
株主数	4,534名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社 マルハグループ本社	5,825	10.52
日本生命保険相互会社	3,680	6.64
農林中央金庫	2,636	4.76
株式会社みずほ銀行	2,581	4.66
バンクオブニューヨークジーシーエム クライアントアカウントイーアイエスジー	2,252	4.06
丸紅 株式会社	2,000	3.61
株式会社 りそな銀行	1,842	3.32
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,742	3.14
株式会社 ニチロ	1,626	2.93
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (三井アセット信託銀行再信託分・ CMTBエクイティインベストメンツ 株式会社信託口)	1,600	2.89
合計	25,786	46.58

※ 上記以外に自己株式1,674千株を保有しております。

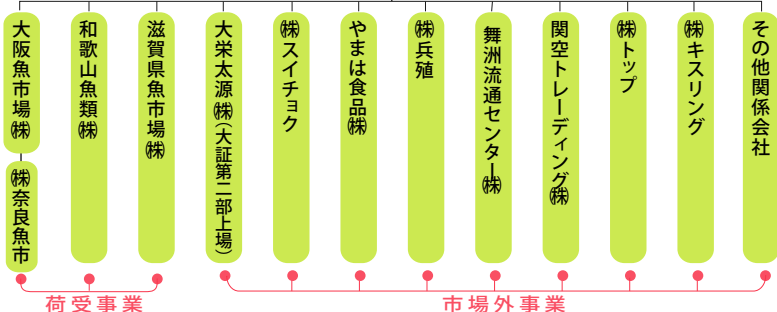
株式分布



GROUP NEWS

OUGグループ組織図 (平成18年10月2日現在)

OUGホールディングス(株) (大証第一部上場)



グループ各社の連携のもと、荷受事業の商品調達力、市場外事業の販売力といった相互の得意な面を活かし、一体で取り組むことにより、競争力強化を図り、グループ全体が持続的に成長する経営基盤の構築を進め、グループの価値の最大化を目指してまいります。

旧大阪魚市場株式会社の全事業である荷受事業を会社分割し、純粹持株会社体制に移行しました。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会開催	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要があるときは、取締役会で決議し、 あらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日	3月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部 電話0120-094-777(通話料無料) 株式関係のお手続き用紙のご請求は、 次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネット でも24時間承っております。 ○電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) ○インターネットホームページ http://www.tr.mufj.jp/daikou
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第一部

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、
現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に
基づいています。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、
異なる場合があることをご承知おきください。

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田1丁目1番86号
大阪市中央卸売市場内
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

当社のHPを ご活用ください

当社HPでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の
皆様向け、発信しております。IRニュースや決算発表を
行うページ、グループ各社の紹介等、様々な情報を掲
載しておりますので、是非ご活用ください。

COMPANY
PROFILE

GROUP
VISION



TOP PAGE

URL <http://www.oug.co.jp>